

第2次船橋市文化振興基本方針 令和8年度個別事業評価シート

事業名	令和7年度飛ノ台史跡公園博物館主催事業				
担当課	飛ノ台史跡公園博物館	担当者	河野	連絡先	047-495-1325

第2次基本方針における事業の位置付け

最も該当する基本目標	IV活かし伝える
最も該当する施策	IV活かし伝える 施策① 各地域の文化資源を活用する取組の充実
関連目標・施策	I気づき始まる 施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供

事業の概要

開催年度	令和7年度			
開催経緯	海神公民館建設のため飛ノ台貝塚の発掘調査を行ったところ、縄文時代早期の貴重資料が多数発掘されたことから、飛ノ台史跡公園博物館建設に変更され、平成12年11月に開館し、開館当初より、市内の遺跡や縄文文化に対する理解等のために教育普及事業を行っている。			
事業目的	博物館法(昭和26年法律第285号)が定めるとおり、「歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料を収集し、保管(育成を含む。以下同じ。)し、展示して教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、併せてこれらの資料に関する調査研究をすることを目的とする機関その健全な発達を図り、もつて国民の教育、学術及び文化の発展に寄与することを目的」とする。			
定性目標	市内から収集した縄文時代に関する資料を展示し、様々なイベントを企画して広く市民に親しんでもらうことで船橋市の文化の発展を推進する。			
定量目標	年間利用者数30,000人			
対象	地域住民のほか縄文時代に関心のあるすべての人			
事業内容	常設展示として市内から収集した縄文時代に関する資料(土器、住居模型、パネル等)を設置するほか、毎年度企画展を開催し			
実施主体	船橋市教育委員会		市との関わり	主催
情報発信	☒ 広報ふなばし ☐ Facebook	☒ HP ☒ X	☒ チラシ ☐	☒ ポスター

第2次船橋市文化振興基本方針 令和8年度個別事業評価シート

経年

年度	令和4年度 (決算)	令和5年度 (決算)	令和6年度 (決算)	令和7年度 (決算)	令和8年度 (予算)
事業費＝決算額	2,696,074	2,474,783	2,685,375	2,529,240	24,078,000
市予算	2,696,074	2,474,783	2,685,375	2,529,240	24,078,000
補助金・協賛金等				0	0
その他 ()					
人工 (常勤職員)	4.5	4.5	4.5	4.5	3.5
人工 (会計年度任用職員)	3	3	3	3	4
その他人工 (他施設職員)	0	0	0	0	0
定量目標値	23,000人	23,000人	23,000人	30,000人	30,000人
定量目標値の設定根拠	第3次船橋市総合計画実施計画	第3次船橋市総合計画実施計画	第3次船橋市総合計画実施計画	第3次船橋市総合計画実施計画	第3次船橋市総合計画実施計画
定量実績値	25,925人	26,529人	26,927人	30,409人	
【%の場合は計算根拠も記入】 Ex.来場者〇人 アンケート回収数〇 アンケート回収率〇%					
事業内容 ※現年度は計画	【展示事業】 常設展屋内、屋外展示 企画展示2事業 【教育普及事業】 ワークショップ、縄文大学ほか	【展示事業】 常設展屋内、屋外展示 企画展示2事業 【教育普及事業】 ワークショップ、縄文大学ほか	【展示事業】 常設展屋内、屋外展示 企画展示2事業 【教育普及事業】 ワークショップ、縄文大学ほか	【展示事業】 常設展屋内、屋外展示 企画展示2事業 【教育普及事業】 ワークショップ、縄文大学ほか	・常設展 屋内屋外 (令和8年4月～令和9年3月) ・企画展 「遊ぼう！学ぼう！とびはくで！」(仮) 「取掛西貝塚企画展」 ・教育普及事業 とびはく大冒険、縄文大学、考古学講座、各種ワークショップほか
定性目標の実績について 経緯・変遷	毎年度テーマを工夫し、企画展を開催してきた。				

第2次船橋市文化振興基本方針 令和8年度個別事業評価シート

自由記述 (これまでの欄で書き切れない 内容・特に推したい年度の事業 P R・補足説明等、自由に記入 する。)	
---	--

事業評価

評価対象年度	令和7年度
評価実施年度	令和8年度

事業所管課による一次評価

1：目標を大幅に下回ってしまった。 2：目標をやや下回ってしまった。 3：おおむね目標通りに達成できた。
 4：目標をやや上回る実績が得られた。 5：目標を大幅に上回る実績が得られた。

定性評価	評価項目	定性目標の達成度				
		1 □	2 □	3 ■	4 □	5 □
	評価理由	学校による博物館見学や企画展を実施した。				

定量評価	評価項目	定量目標の達成度				
		1 □	2 □	3 ■	4 □	5 □
	評価理由	令和7年度は積極的に出前授業やワークショップを増やし、利用者数の増加につながった。				

文化振興推進協議会に 助言・提案を求めたいこと (何が課題か、どのような助言 を求めたいか、明確に記入する こと)	課題
	まだ博物館を知らない方、縄文時代に興味のある遠方の方にアピールしていくことが求められている。
	求めたい助言

文化振興推進協議会委員による二次評価（文化振興推進協議会にて協議）

事業に対する評価・ 今後の事業展開への 助言・提案	
---------------------------------	--

フォローアップ

今後の対応 (文化振興推進協議会委員によ る二次評価を受けての対応を記 入してください。)	
対応の結果（今後照会予定で す。無理に結果を作り出す必要 はありません。結果が出た場合 のみ記入してください。）	